

も り み ん だ よ り

広島県 安芸太田町議会

第79号

令和7年11月5日発行



安芸太田町議会
ホームページ



9月22日 加計高校体育祭にお邪魔したよ！
全国でも有数の暑い加計、熱中症対策のため
加計体育館での開催だったよ。
生徒みんなの競技・演技は熱く、熱気のあまり、
写真のントがずれちゃった。



9月定例会で決まったこと!

9月定例会を終えて



安芸太田町議会議長
中 本 正 廣

今期定例議会は9月5日に開会し、9月8日、9日の2日間が7名の議員による一般質問を行い、令和6年度決算認定では、詳細な審査を行うため、9月10日に決算審査特別委員会を設置し、9月11日、12日、16日の3日間において、決算審査特別委員会を開催しました。

議案の審議では「条例改正」、「令和7年度会計の補正予算」、「令和6年度会計決算の認定」など、18議案を審議いたしました結果、各議案すべて、原案のとおり可決されました。

また、議会提出議案として、ガソリンの暫定税率の廃止においては、安定的な行政サービスの提供と財政運営を担う地方への影響等を十分に考慮していただき、財源論なき減税が行われることがないように、国に意見書を提出する議案を審議いたしました結果、全会一致で可決されました。

会期：令和7年9月5日～9月18日（14日間）

議案番号	件 名	採 決
報告第3号	健全化判断比率の報告について	—
報告第4号	資金不足比率の報告について	—
同意第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（佐々木昭三さん）	全会一致
同意第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（齋藤和典さん）	〃
同意第9号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（片山豊和さん）	〃
同意第10号	教育委員会委員の任命について（河本千絵さん）	〃
議案第49号	安芸太田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第50号	安芸太田町議会議員及び安芸太田町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	〃
議案第51号	安芸太田町分担金徴収条例の一部改正について	〃
議案第52号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第3号）	〃
議案第53号	令和7年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第54号	令和7年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第55号	令和7年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第56号	令和7年度安芸太田町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	〃
認定第1号	令和6年度歳入歳出決算の認定について	〃
認定第2号	令和6年度安芸太田町病院事業会計決算の認定について	〃
認定第3号	令和6年度安芸太田町簡易水道事業会計決算の認定について	〃
認定第4号	令和6年度安芸太田町下水道事業会計決算の認定について	〃
発議第2号	地方一般財源総額及び地方税財源の確保と充実、人口減少対策及び地方創生の強力な推進、防災・減災対策の推進と強靱な国土づくりを求める意見書の提出について	〃
陳情第15号	安芸太田町健康運動クラブ連絡協議会活動への支援を求める要望	〃

9月定例会で決まったこと!

議案第52号

令和7年度一般会計補正予算(第3号)

一般会計歳入歳出に122,332千円を増額し、歳入歳出予算総額を9,098,820千円と定める【可決】

【歳入の主なもの】

・国庫補助金	8,282
・県補助金	1,000
・起債等	12,443
・一般財源	100,607

【歳出の主なもの】

・定額減税補足給付金	8,000
・社会生活基盤等整備事業	50,377
・財政調整基金積立金	19,497
・水道事業会計補助金	20,777
・疾病予防事業	13,037



会議中

決算審査

令和6年度決算を認定

9月定例会では、議長、監査委員を除く9人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月11日、12日、16日の3日間、一般会計・特別会計など8会計を集中審査しました。

審査結果は、全会計、いずれも全員一致をもって原案のとおり認定されました。

各会計の決算状況

(単位：千円)

会 計 名		歳 入	歳 出	翌年度繰越額	差 引
一 般 会 計		8,887,241	8,804,469	43,780	38,992
国民健康保険事業特別会計		858,179	857,642	0	537
後期高齢者医療事業特別会計		182,404	174,458	0	7,946
介護保険事業特別会計		1,330,809	1,256,205	0	74,604
介護サービス事業特別会計		17,113	17,113	0	0
筒賀財産区特別会計		6,320	6,320	0	0
内黒山財産区特別会計		67	67	0	0
簡易水道事業会計	収益的収支	185,320	181,490	0	3,830
	資本的収支	100,545	132,325	0	▲31,780
下水道事業会計	収益的収支	479,497	478,096	0	1,401
	資本的収支	69,855	170,973	0	▲101,118
病院事業会計	収益的収支	2,030,453	2,029,581	0	872
	資本的収支	11,035	84,440	0	▲73,405

令和6年度 決算審査特別委員会

議長及び議会選出監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会において、各担当課と質疑応答を行い、今後の予算編成に活かすよう指摘しました。主な内容は、以下の通りです。

定住・人口対策、子育て・教育・次世代育成

問 空き家解体補助金の限度額の引き下げと解体事業件数への影響について。

答 令和7年度、9月時点で4件の申請がある。前年と比較して減少しているが、今後事業の検証を行い、見直しが必要であれば対応していく。

問 学校給食共同調理場の今後の方向性について。

答 児童・生徒数の減少と調理員の人数に課題はあるが、出来る限り維持したい。

問 図書館の貸し出し冊数と図書館の維持について。

答 年間3万冊超で推移している。図書館の3館体制は維持していきたい。

健康・医療・福祉、社会基盤・防災・防犯

問 筒賀拠点整備計画の進捗状況と筒賀福祉センターの今後の方向性について。

答 可能なら来年度のプロポーザル実施を目指す。建設に1～2年の見通し。筒賀の福祉センターは耐震性・老朽化・浸水想定区域内等の課題があり、基本構想で議論中だが、建替・継続利用は難しく、「基本的に使わない（解体）」方向で行財政審議会に提案。

問 合併浄化槽の更新補助金の創設等について。

答 国の補助制度の創設を受け、新年度予算において検討する。

問 防犯カメラは、現在町内6か所。安全・安心の観点から主要出入口や交通結節点での増設が必要では。

答 必要箇所の検討を継続し、設置に向けた次年度予算要求の方針。

生活利便性・環境、産業・観光・仕事

問 イベント補助金について、同じ内容のイベントにもかかわらず、補助金の額に多額の差がある。見直すべきでは。

答 イベント支援の在り方（職員動員・予算配分・地域間差）の見直し方針を検討する。

問 道の駅再整備計画の詳細内容について問う。

答 10月開催予定の特別委員会にて、事業全体のスケジュールや詳細な内容を説明する。

問 特定地域づくり協同組合の現在の状況と今後の見込みについて問う。

答 令和7年4月時点での派遣職員は2人だが、現在は1人退職し、派遣職員は1人となっている。国の制度廃止の話はなく、制度がある限り組合は維持方針。今後、年度ごとの状況を踏まえ協議継続していく。

コミュニティ、病院事業、上下水道会計

問 病院事業の在り方検討委員会の検討内容と、在り方検討委員会の答申を受けての具体的な見直し時期について問う。

答 診療規模（科目）の適正化、在宅医療と総合診療、戸河内診療所の方向性等について検討する。診療科目の見直しや、戸河内診療所の方向性については、検討委員会の報告が出たのち、内部で慎重に検討を行う。

問 上下水道料金の改定について、審議会で検討されているが、値上げの答申が出れば具体的な値上げの時期は、いつ頃を想定しているか。

答 令和8年1月の審議会答申を受け、料金改定を決定し、6か月程度の周知期間をおき、令和8年10月頃の改定を予定している。

令和6年度 決算審査特別委員会



決算審査特別委員会 委員長報告
委員長 影井 伊久美



決算審査特別委員会による審査の様子

決算審査特別委員会審査報告（委員長報告抜粋）

実質収支（歳計剰余金）は、3千899万2千円であり、前年度の1億6千98万円に比べ1億2千198万8千円減少でした。財政調整基金の積立て状況では、前年度比44.2%の減少、金額にして6千562万4千円の減少となっており、総額8千279万7千円を積立てたものの、財政不足を補うために財政調整基金を1億円取り崩す結果でした。

委員からは、不用額、繰越明許に至った要因、筒賀地域拠点整備事業の進め方などの効率の妥当性、令和6年度新規事業や定住促進賃貸住宅などの効果の検証、老朽空き家解体補助事業の適正性、各種団体への補助金交付事業の公平性を問う質疑や意見が付けられました。

また、各種交付金の動向、複数分野にわたる深刻な人材不足に伴う住民サービスの供給リスク、令和6年度における事業の選択と集中の評価をどう捉えるかなどの議論がなされました。

企業会計では、病院事業会計における医業本来の成績を示す医業損益が▲3億9千693万3千円、簡易水道事業会計における営業損益は▲8千559万3千円、下水道事業会計における営業損益は▲3億3千799万2千円でありました。経営指標でみれば、病院事業会計では病院の本業である医業活動における経営状況を示す修正医業収支率が76.8%と100%を下回り、簡易水道事業会計では料金水準の妥当性を示す料金回収率が56.8%で、給水に係る費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を下回り、下水道事業会計では下水道使用料で回収すべき汚水処理に係る経費がどの程度使用料で賄えているかを示す経費回収率が43.3%と100%を下回っている状況で、3企業会計ともに一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況でした。

今後は「病院あり方検討委員会」「上下水道料金審議会」において十分協議を重ね、経営体制の見直しや事業の安定化に努めていただきたいことを申し添えます。

（審査の結果）

認定第1号、令和6年度安芸太田町歳入歳出決算の認定、及び認定第2号、令和6年度安芸太田町病院事業会計決算、認定第3号、令和6年度安芸太田町簡易水道事業会計決算、認定第4号、令和6年度安芸太田町下水道事業会計決算の認定については、いずれも全会一致により、認定いたしました。

決算審査 監査委員からの意見（抜粋）

－中期財政運営方針の改定も視野に入れ、事業の選択と集中を－

「第二次長期総合計画後期基本計画」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、令和6年度が最終年度を迎えた。

特に課題となる人口減少対策や過疎を克服するまちの実現に向けて、次期長期総合計画に反映されたい。

また、財政状況は、財政調整基金の補填を伴う決算収支であり、決算数値における財政指標は、基金の積み増しと起債残高の縮減により、将来負担比率が1.1%から0%以下となる。実質公債費比率は12.6%から13.2%に悪化した。経常収支比率は97.9%から92.8%に改善している。

ただし、依然として財源的余裕や財政構造には弾力性が乏しい状況が続いている。本格化した道の駅周辺再整備事業、加計スマートインターのフル化といった大型事業への投資も進行中であり、今後も財政調整基金に頼らざるを得ない見込みである。中期財政運営方針の改定も視野に入れ、事業の選択と集中を図りつつ、適正な財政運営に努められたい。

簡易水道事業では、人口減少による給水収益の減少、施設の老朽化に伴う更新費用の増加、事業を支える人材の不足といった様々な課題がある。安定した事業を展開していくための検討と取り組みを進められたい。

下水道事業では、人口減少による排水収益の減少、施設設備の維持修繕費用の増加といった様々な課題がある。安定した事業を展開していくための検討と取り組みを進められたい。

病院事業会計では、人事院勧告による給与増により、経営に圧迫が生じている。安定した医療提供体制を維持しつつ、健全な経営の継続と地域が求める医療サービスの提供について、総合的な判断が求められる時期にある。あり方検討委員会で十分な協議を重ねられ、示された方針を踏まえた経営体制の見直しと改善を進められたい。

■監査委員の審査意見（特記事項）

以下、従前からの決算指摘も踏まえ、特記として付記する。

1. 翌年度繰越額について
2. ふるさと納税の推進について
3. 地域通貨moricaについて
4. 都市・地域再生等利用区域の指定について
5. 定住促進事業について
6. 第3次長期総合計画の策定について
7. 準公金の取扱いについて
8. 補助金交付事業について
9. 補助金交付要綱等の整備について
10. 筒賀総合サービス有価証券について



代表監査委員
齋藤 和典



議会選出監査委員
佐々木道則



深入山森林セラピーロードの整備状況を確認している様子



影井 伊久美 議員



大江 厚子 議員

7人の議員が質問・提言

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人当たりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。

9月定例会では、9月8日、9日の2日間7人の議員が質問を行いました。

番号	議員名	質問内容（抜粋）
1	宮 本 千 春	●町の将来像を見据えた公共投資について ●体も脳もわくわく講座について
2	影 井 伊久美	●子ども達の熱中症対策について ●農業振興、林業振興について
3	笠 井 清 孝	●空き家対策について ●安芸太田町の観光資源について
4	小 島 俊 二	●令和8年度予算編成に向けて ・合併浄化槽更新補助金の創設 ・防犯カメラの設置について
5	大 江 昭 典	●人材育成について ●筒賀拠点施設について
6	大 江 厚 子	●町立病院における看護師不足について ●女性差別、外国人差別問題について
7	津 田 宏	●雇用創出による人口維持と地域産業活性化の推進について

問

元気な高齢者が集える場の確保策は



宮本 千春 議員

健康福祉課長

新たなサロンが展開できるよう努力したい



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

■体も脳もわくわく講座について

問 「体も脳もわくわく講座」が、新たな枠組みに変更となり、対象者が限定された経緯は？

答 健康福祉課長

この事業は、要介護状態に近い方など介護が必要な状態にならないよう、自立した生活が続けられることを目的としていました。事業は基本的に1年で、参加された方々には地域で実施される百歳体操やサロン活動への参加を誘導することとしておりましたが、地域によってはサロン活動が無かったり、参加が難しいところもあり、やむなく「体も脳もわくわく講座」を継続実施しておりました。

この点について、県からご指導をいただき、本町の事情も理解していただいたうえで、事業の対象者の選定方法を、より目的に応じた事業になるように改めたところです。



加計会場

介護予防教室 のびやか



坪野会場

問 従来の「わくわく講座」を復活させるような柔軟な運用を検討できないか。

答 健康福祉課長

高齢者の「出番」と「居場所づくり」により生活の満足度を向上させることにも繋がっていくものと考えており、関係団体等とも協議しながら新たなサロンが展開できるよう努力したいと思います。

■町の将来像を見据えた公共投資について

問 県において次期道路整備計画の期間整理が進められているが、危険度の高い道路区間である「坪野～津浪」間、将来のこども園・小学校・中学校の統廃合を見据えた際の通学・通園路となる「鵜渡瀬～殿賀」間の2か所についての道路整備の重要性をどのように認識しているか。

答 建設課長

この2路線については、有事の際の迅速な避難や救護活動、物資輸送を行う上で極めて重要な路線であり、また通勤通学や物流観光のルートとしても重要な路線として認識しているため、引き続き、次期整備計画策定においても、道路改良の優先箇所として要望しているところです。



影井伊久美 議員

問

子ども達の熱中症対策、冷水機設置の考えは



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

教育次長

費用面が課題。研究しながら進めていきたい

■子ども達の熱中症対策について

問 近年の猛暑は深刻さを深めており、暑さ対策の常識も変化している。現代の基準に合った熱中症対策や予防が重要である。子ども達の水分補給環境を整えるため、各学校に冷水機の設置を検討するお考えはないか。

答 教育次長

水分補給は重要であると認識しています。飲みやすさ、体を冷やすといった意味でも、冷水機は有用であると考えています。設置には、結構な予算を要することから、研究しながら進めていきたいと思っています。

■農業振興について

問 これまで、小規模農家に対する支援や制度の拡充を図ってこられた。次のステップとして、作付け品種の最適化や集荷システムの構築、販路開拓やマーケティング、農家同士の連携でリレーションが図れる仕組み作り等を牽引する役割が重要となる。本町の農業事情を把握し、農業振興ビジョンとの整合性を図りながら、町全体の戦略を描き、関係者をつなぐ役割を担うアドバイザーなどを登用する考えはないか。

答 産業観光課長

外部からの専門家、また地域の専門家などの登用が考えられると思います。まずは、出荷者やJA広島市などで現状把握し、どの分野で必要か働きかけを行なっていきます。



■林業振興について

問 林業を取り巻く環境は極めて厳しいが、現状維持で良いのか。様々、課題はあれど伐採のみならず加工流通し、木材の町内循環を促進する必要があるのでは？新規公共施設建設の際や6次産業化するためにも製材所が必要であると考えるが、考えを問う。

答 町長

大きな製材所を作って、大きな林業を進めていくというよりは林業に携わる方を少しずつ増やしていきながら、それに見合った製材所や木材加工を広げていくことが本町に相應しいと考えます。



問 空き家対策について問う

町長

空き家になる前からの取り組みの推進が重要



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。



笠井 清孝 議員

問 空き家対策では事前からの対策が重要だと考える。家の終活セミナーの実施を検討してはどうか。国土交通省から提案されている、住まいのエンディングノートも活用してはどうか。

答 町長

終活セミナーの提案もいただきました。そして、国土交通省から提案されている住まいのエンディングノートについても、お聞きしました。具体的な取り組みは、町も勉強をさせていただきながら、空き家対策、移住定住の促進を進めていきたいと考えています。



もりか現金チャージ機

問 地域通貨もりかについて、利便性の向上（銀行・クレジットからのチャージなど）について問う。

答 企画 DX 課長

導入及び運用に係る費用が高額になるので、慎重に検討していきます。

答 町長

引き続き利用拡大を図ることで地域環境型社会の経済面での大きな役割を果たすと思っています。

また、もりかアプリも充実させ、町民の利便性向上につなげていきます。

問 三段峡の活性化の具体案について問う。

答 産業観光課長

三段峡の整備には財源の確保が必要です。

県内での宿泊税の導入が決定されたことに伴い、宿泊税などが三段峡を含め、町内観光に関して、ハード・ソフトといった垣根なく柔軟に活用できればと考えています。





小島 俊二 議員

問

合併浄化槽の更新補助金制度の創設について問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

建設課長

新年度予算で検討したい

■合併浄化槽の更新補助金・修繕補助金の創設について

問 町にある約1,000基の合併浄化槽のうち、約5割が今後10年で耐用年数30年を迎える。浄化槽の更新補助金及び修繕補助金の創設を求める。

答 建設課長外

国において、今年度から一定の要件のもとに、浄化槽の更新について補助対象を追加されたところです。町としては、新年度予算に向け、予算編成の中で対応を検討したいと考えています。修繕については、現在のところ補助制度の創設については困難ですが、議員からの御指摘も踏まえて少し勉強させていただければと思っています。



合併浄化槽



■町内への防犯カメラの設置及び防犯用品購入補助金の創設について

問 現在、町設置の防犯カメラは、6台設置しているが、今後、全町への設置予定はあるか。防犯カメラの設置は高額であり、安価な防犯用品の購入補助金制度の創設について見解を問う。

答 総務課長

現状、全町を網羅している状況ではないので、交通の要所要所について、再度確認をしながら、必要な場所については、設置に向けて検討していきます。防犯対策用品の購入費補助制度の提案は、行政として率先して取り組むべき課題かどうか、さらには費用対効果なども含めて、施策としての優先順位を見極めていきたいところです。

■滝山川右岸の草木の除去について

問 加計中学校前の滝山川右岸河川敷の管理は町であるが、除草管理の徹底をするか、無理なら河川占用の廃止を検討すべきと考えるがどうか。

答 加計支所長

河川専用の廃止を検討し、河川事務所へ草木の除去について要望していきます。





より良い住民サービスの充実を目指すべく人材育成について問う



大江 昭典 議員

町長

新しい町独自の研修や様々な取り組みによって職員個々の向上を目指す



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

問 行政主導による町内での介護人材育成を問う。

答 健康福祉課長

介護福祉士の資格取得及び人材確保が急務と考えております。

現在、令和8年度からの資格取得可能な研修会が町内で実施ができるよう、研修内容の精査、予算の確保に向けた準備を進めています。

答 町長

介護関係の職員の獲得は、どの地域も大変困難をされている事柄だと思っております。本町においても、引き続き町民さんが町内の介護サービスを受けられるように、職員の確保という重要な取組だと思っておりますので、地域の事業者さんとも連携をさせていただきながら、できることを進めさせていただきたいと思っております。

●町内福祉の要である部署として、町内事業者の負託にこたえるべく、もっとスムーズな展開を求めます。これは、施設利用する可能性のある高齢者の方々や家族の願いでもある。



筒賀福祉センター



筒賀支所



筒賀ふれあいプラザ

筒賀拠点施設構想の進捗状況と進展について問う

問 いまだに、進捗を感じられない拠点施設構想について、改めて進捗状況と進展について問う。

答 筒賀支所長

今後は、頂いた意見なども踏まえ、10月をめどに実施方針案をまとめ、公表することで、改めて事業者の参画を促し、PFI事業での実施が可能か否か、また可能であれば、PFI事業としての募集要項をまとめ、8年度中のプロポーザル実施へつなげてまいります。

問 PFI事業で、事業者が名乗りを上げなくても、拠点施設を実現化するのか。

答 町長

もしPFI事業でできないということであれば、従来の公共事業として直接発注するような方法も、考えていかなければならないと思っていますところでは。

一般質問



大江 厚子 議員

問

安芸太田病院の看護師の状況は



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

看護師が本来の業務に専念できるように取り組む

問 看護師の充足状況について問う。

答 病院管理者 看護師不足は、現状ではないと認識しています。

問 全国的には、多くの看護師が肉体的・精神的に限界に近い状態で働いているとの調査結果がある。多忙のため、本来の看護ができないという声はないか。

答 病院管理者 患者は看護より介護を必要とする方が多く介護士を増員する計画です。看護師のモチベーション 向上やDXによる環境整備も進めてまいります。

問 来年度の診療報酬改定では、医療従事者の賃金や物価高騰に見合う評価を盛り込むべきではないか。

答 病院管理者 現状病院経営は非常に厳しいが、来年度は明るくなることを期待しています。



安芸太田病院

■戦没者追悼平和祈念式典での町長の式辞について

問 本年の町長式辞には反戦・反核の主張が感じられなかったが見解を問う。

答 町長 反戦・反核に向け、先人の取り組みへの感謝と、その思いを受け継ぐ決意を述べました。

問 政府や元自衛官による非核三原則見直し提言をどう思うか。

答 町長 広島にある町として、そのような方針は本来あり得ないと考えています。

■女性・外国人差別について

問 どのような女性差別事象があるか。

答 地域協働課長 職場での待遇差別、性暴力、セクハラ・マタハラ、パワハラ、男女の固定的役割意識などがあります。

問 家父長制に基づく差別は今も根強い。行政の取り組みを問う。

答 地域協働課長 女性の就業機会拡大、子育て支援、審議会委員への女性登用、人権啓発セミナーや広報紙での発信を通じ、社会全体の認識が深まるような啓発を行っています。

問 家父長的価値観が、我々の内面 根づいている現実がある。男性中心の社会への違和感を声に出していくことが重要だ。頻発する教職員による女児への性暴力をどう考えるか。

答 教育長 子どもの声に耳を傾け、十分に配慮し対応しています。

問 根拠のない言説に基づく外国人排除が広がっている。今の施策について問う。

答 地域協働課長外 ホームページの多言語化、人権啓発セミナー、広報紙での周知を実施しています。学校教育全体を通じ、異文化理解を深める人権教育を行っています。

問 持続可能な企業誘致の仕組み構築についての考えは



津田 宏 議員

町長

過疎化や人材不足、企業イメージへの配慮が必要。財政面も含め制度設計の点検を進める



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

- 問 林業による雇用創出。
 ①若者、移住者向けの林業研修制度や就労支援策の整備状況について問う。
 ②木質バイオマス発電・木材加工産業の創出とその後の取り組みについて問う。
 ③ライドシェアの現状と「もりカー」並みの制度導入による夜間移動支援の可能性について問う。

答 町長

- ①林業支援は産業振興よりも移住定住の受け皿としての意味合いが強く、一定の成果があります。
 ②木質バイオマス発電は事業者による検討が続いているが、木材不足・施設高騰・用地確保が課題です。木材加工品は太田川森林組合クラフト工房で拡大しております。
 ③実証実験は金曜夜のみ運行、利用は低迷（平均0.7回／日）事前予約不可・曜日限定が課題です。今後、アンケート調査も予定されているところですが、「もりカー」並みの支援で利用増加の可能性もあります。町外事業者への補助に関する理解など、事業者や町内の関係者とも協議をさせていただきながら、より良い交通体系の確立に向けて取り組んでいきたいと考えています。

【津田議員の提言】

- ・林業関連は官民連携で森林資源を産業化すべき。津和野町のようなモデルを参考に。
- ・ライドシェアは国交省の特別事業。町外業者への補助は町民支援として扱うべき。
- ・夜間移動支援は地域経済活性化に直結、制度見直しを要望。

- 問 企業誘致促進条例の見直しと支援制度の妥当性について。
 ①企業誘致の実績（業種・雇用数・波及効果・定着率・撤退事例）を問う。
 ②地元高校・地域おこし協力隊との連携による人材育成・企業支援状況を問う。
 ③条例改正に向けた検討体制の有無と運営状況を問う。
 ④持続可能で地域に根ざした企業誘致の仕組み構築を提案するが見解を問う。

答 産業観光課長

- ①平成20年以降11社が操業（製造業4社、ホテル関連4社、その他3社）新規雇用者は20名。定住条件付きで地域消費に貢献。撤退事例もあります。土地確保が困難で断念したケースもあります。
 ②コロナ禍の影響で、リモートワークや分散勤務の動きが、実質活発化したことで地域資源を活用すること、仕事・暮らしも満足できる勤務環境の充実は、どの企業も目指しているところです。そのため、企業誘致に取り組む自治体は数多くあり、本町の強みも出していかねばならないと考えているところです。地域おこし協力隊では、井仁地区で民宿業を始めておられます。加計高校では、探求学習に対し、企業が参入して支援を行ったり、また農林水産業との連携を現在行っておりますが、農業活動の課題に対し、企業のあっせんなどに取り組んでいます。
 ③まずは実態調査が必要と考えています。本町には工業団地がないことが課題です。
 ④企業誘致は重要だが、過疎化・人材不足・企業イメージにも配慮が必要と考えています。財政面も含めた制度設計の点検を進めてまいります。

●町長の見解

- ・企業誘致による税収効果は限定的であり、大企業誘致については地元雇用対応が困難な場合もあり、慎重な判断が必要。また、観光業は小規模投資で始められ、地元雇用に適している。

【津田議員の提言】

- ・企業誘致は定住促進が目的、法人税収ではなく人口増加政策が本質。
- ・雇用促進住宅・定住条件付き奨励金などの制度設計が必要。
- ・安芸太田町独自の条例で、山林・IT企業誘致による人口維持を目指すべき。

道の駅再整備事業

10月23日、「地方創生調査特別委員会」が開催され、町から「道の駅再整備事業」についての説明を受けました。また、地方創生調査特別委員会終了後、第7回臨時会が開催され、議員提出議案として「道の駅再整備事業に関する早期なる情報提供を求める決議案」が提出され審議を行った結果、賛成6、反対4の賛成者多数により可決されました。

地方創生調査特別委員会

整備内容とスケジュールの大幅な見直し

資材・人件費高騰に伴い、駅舎（内容変更）・駐車場（縮小）・遊具施設（移設無、既存のまま）・イベント広場（ステージ無、縮小）・チャレンジショップ（既存使用）・JR跡地利用（用途変更）等について、施設全体で計画中止を含む大幅な見直し案が示された。

移転補償費について

移転補償契約を締結したとの報告があった。2事業者で総額1億8百95万5千円。

【議員からの質問や意見】

- 資材・人件費の高騰が原因であれば、事業契約を増額補正することも検討すべき。
- 全体事業費及び見直し項目毎の金額提示がなく、事業実施判断ができない。
- 当初計画から大幅な見直しとなり、新道の駅の魅力が大幅に低下するのではないか？
- 示された事業計画の見直し案によれば、本当に道の駅周辺事業者の移転の必要があったのか？
- 住民説明会が9月から12月に変更された理由は？
- SPC（施工事業者）との協議や連携を十分に取れているか？
- 今回の大幅な見直しでも契約金額を超えているということは、更に計画の縮小・削減の可能性はあるのか？
- SPC（施工事業者）との交渉や財源部分に余地があるとしたら、期限、内容を含めてどれくらいまでなら大丈夫なのか？
- チャレンジショップ西側の町道を含む関連工事において、議会への連絡が2日前になされた状況であった。議会軽視ではないか？

※町道廃止等の行政手続きは未完了。

発議第3号 道の駅再整備事業に関する早期なる情報提供を求める決議

道の駅再整備事業は、地域の賑わい創出や観光振興、交流人口拡大に資する重要かつ、住民の関心も極めて高い事業である。しかしながら、当該事業の進捗状況や事業内容の変更、契約手続き等に関して、町議会への報告や説明が早い段階で十分に行われていない。

地方自治において、議会は住民の代表機関として行政の執行状況を監視し、説明責任を果たさせる立場にある。町執行部が議会への説明や情報提供を怠ることは、議会の審議権を軽視するものであり、信頼関係を損ねるものである。また、住民の知る権利の確保にも関わる重大な問題である。

よって本議会は、町長及び関係部局に対し、道の駅再整備事業に関する進捗状況、契約内容、財源計画、事業スケジュール等について、議会及び町民に対して誠実かつ速やかに説明を行うよう強く求めるものである。



提案者 津田 宏



賛成者 大江昭典



賛成者 影井伊久美

令和7年10月23日提出

道の駅再整備事業

発議第3号 討論

賛成討論



小島俊二 議員

今回の道の駅再整備事業は、安芸太田町の明暗を分ける重要な事業だと考えており、執行部は議会と十分に連携をとって、両者でこの事業に取り組んでいかなくてはならない。また本日、事業内容について大きな内容変更の説明を受けたところであるが、判断が非常に難しい内容であり、議会へ早めに情報提供を行い議論することが住民の信頼にこたえる事業になると思う。



影井伊久美 議員

これまでも説明の在り方については、時期が遅い、内容が不十分との指摘を行ってきたが現状も改善されていないと認識している。このことは議会軽視との印象を与えかねない。

本決議は決して対立や批判を目的とするものではなく、信頼関係をもって議論を進めるために重要な案件であると捉える。

反対討論



末田健治 議員

情報提供を求める決議については、必要な都度において執行部のほうから、適切な説明をされていると理解をしている。店舗の移転についても、これまで十分な説明がされていると承知しているため、説明不足に当たらないと思う。住民への情報提供については、不確かな情報をもって説明することは、疑念を抱くことになる。

執行部においては、固まった方向性についてのみ説明を頂いている。



大江厚子 議員

住民の皆様との意見交換の中で返答に困ることもあり、説明不足というのは否めない部分はある。

しかし、議会においてこうした決議を出すのは本当に重大なことである。特段重大な瑕疵があったわけではないと思うし、故意による説明不足があったとも思えない。本事業は重要な案件である。これまで以上に十分な説明を強く要望する。

発議第3号 表決結果

賛成6、反対4の賛成者多数により可決されました。※○賛成 ●反対

議 案 番 号 等	笠井清孝	田島清	宮本千春	大江厚子	末田健治	佐々木道則	影井伊久美	大江昭典	小島俊二	津田宏	中本正廣
発議第3号 道の駅再整備事業に関する早期なる情報提供を求める決議	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	—

第7回臨時会 議案採決結果

議案番号	件 名	採 決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（車両事故に係る損害賠償と和解）	全会一致
議案第57号	工事請負契約の締結について（町道三谷龍頭線道路改良工事）	//
議案第58号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第4号）	//
議案第59号	令和7年度安芸太田町下水道事業会計補正予算（第1号）	//
発議第3号	道の駅再整備事業に関する早期なる情報提供を求める決議案の提出について	賛成多数

議会報告会レポート

広報広聴委員会では、「議会報告会」を昨年より2会場増やした3会場で開催しました。昨年より延べ参加者は10人減少、また女性の参加者は3会場で4人と少ない状況でした。この結果を踏まえ、皆さまが「参加したい、できる広報広聴会」となるよう見直してまいります。なお、各会場の開催状況、主なやりとりについては次のとおりです。

●報告会開催状況 10月3日（金）18：00 太田川交流館かけはし 参加者 10人
10月5日（日）10：00 筒賀福祉センター 参加者 17人
18：00 安芸太田町役場東館 参加者 6人

■加計会場

①決算審査特別委員会委員長報告

②意見・質問

- ・加計小学校の通学路である加計旭橋にいたる県道が非常に危険な状態であり、早期の対策を求める。
- ・加計地区でも海外からの研修生が増加している。今後、コミュニティの構築が必要では？
- ・加計市中の水路の水量が減少している。冬季の除雪に向けて原因究明が急がれる。早期の対策を望む。



■筒賀会場

①決算審査特別委員会委員長報告

②意見・質問

- ・新道の駅再整備計画についての情報提供が少ない。積極的な情報提供を望む。
- ・筒賀拠点について、新たな施設を建設するより現福祉センターの活用を検討すべき。
- ・町内への防犯カメラの増設を要望する。
- ・議会委員会の議事録公開や委員会中継を早期に実現すべきでは。
- ・筒賀地区は、下水道加入率は100%だが他地区の加入率の向上対策が必要。

■戸河内会場

①決算審査特別委員会委員長報告

②意見・質問

- ・現在、病院の在り方検討委員会が行われているが、戸河内診療所の方向性について、過去の経緯も踏まえて検討されることを望む。
- ・戸河内診療所の廃止は絶対反対です。
- ・10月1日の高速バス、新広益線の再開出発式に議員が出席してないのは問題ではないか。
- ・戸河内ストアの社会実験終了後の存続の可能性について、議会としてどう考えているか？



総務常任委員会

委員会開催 7月24日

所管事務調査

●調査対象

総務課・税務住民課

●調査事項

- ① 地方交付税制度
- ② 減税政策について
- ③ 公共施設管理計画
- ④ 集会施設現地視察



事務調査の様子



井仁棚田交流館



東区コミュニティセンター



修道活性化センター



筒賀福祉センター



事務調査の様子

●調査事項

- ① 持続可能な集落支援モデル事業
- ② 筒賀拠点整備計画及び筒賀福祉センター
- ③ 地域おこし協力隊、集落支援員について
- ④ 現地視察—とこうちストア 現地視察（8月26日時点）

委員会開催 8月26日 所管事務調査
●調査対象 地域協働課・筒賀支所



とこうちストア 現地視察（8月26日時点）



産業建設常任委員会

委員会開催 9月17日 陳情審査

① 陳情第13号

光石自治会水道施設の保全に関する陳情書

(継続審査)

② 陳情第14号

免税軽油制度の継続についての陳情

(継続審査)



光石自治会水道施設
(貯水タンク)

委員会開催 7月1日 所管事務調査

● 調査対象

建設課 県安芸太田支所

● 調査事項

① 太田川総合開発事業

業現地調査報告

② 加計スマートーC

フル化事業説明会

報告

③ 令和7年度広島県

建設事業説明の説

明

令和7年度の安芸太

田町関連の広島県事

業予算について詳細

説明



令和7年度 広島県建設事業説明の様子

委員会開催 7月22日 所管事務調査

● 調査対象

建設課 税務住民課

● 調査事項

① 町建設事業の課題

② 地元水道組合の現状

令和7年6月定例会にて提出された陳情第13号「光石自治会水道施設の保全」に関する陳情の審査にあたり、関係書類（地域水道組合一覧と地域水道組合の状況）の共有を図り、地域水道の課題等について調査した。関係書類を基に各々で精査し、9月定例会での審議に臨むべくための準備を行った。

町内水道組合		
加計地区	加計地区	昌原水道施設
		安野上原簡易給水施設
		上田野原簡易水道組合
		修道・中央給水施設
		出口水道組合
		本郷上水道組合
		東本郷水道組合
	戸河内地区	三本木上水道組合
		川登西上水道組合
		川登西下組上水道組合
		穴阿地区給水施設
		温井地区給水施設
		上原水道組合
		鮎ヶ平水道組合
		下田吹簡易水道組合
		野為地区給水施設
		那須上水道組合
		小板簡易水道組合
		与一野地区給水施設
		平見谷地区給水施設
		澄合簡易水道組合
		津都見簡易給水施設
		光石上水道組合
		附地水道組合
		火の谷上水道組合

※その他にも地元水道が存在しているかと思いますが、上記の水
道施設は現在把握できているもののみ記載しています。

地方創生調査特別委員会

委員会開催 9月17日

① 地域商社あきおた令和6年度
決算報告について

② 第2期安芸太田町まち・ひと・
しごと創生総合戦略の施策評価
について

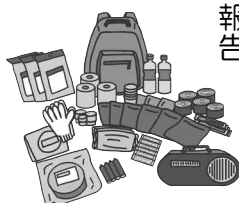
災害対策調査特別委員会

委員会開催 9月17日

① 防災啓発・備蓄品の状況と動向

・災害対応訓練について

② 火災発生状況の報告



子ども子育て・若者 支援対策特別委員会

委員会開催 9月17日

① 修道放課後子ども教室の現状に
関する引き継ぎ協議

② 子ども・若者・子育て世代との
意見交換会開催に向けて

子ども子育て・若者支援 対策特別委員会

委員会開催

7月9日 所管事務調査

調査対象

教育課

調査内容

第3期子ども子育て支援事業計画について



子ども子育て・若者支援
対策特別委員会の様子

委員会開催

7月29日 所管事務調査

調査対象

税務住民課、地域協働課
企画DX課、健康福祉課

調査内容

第3期子ども子育て支援事業計画について



子ども子育て・若者支援
対策特別委員会の様子

広報・広聴調査特別委員会

委員会開催

8月25日、9月26日 外

- ・広報広聴委員会活動打ち合わせ
- ・もりみんだより第79号 編集作業

委員会開催

9月9日

- ・令和7年度議会報告会の開催計画について
- ・令和7年度広報・広聴委員会の懇談会開催について

行政視察

8月5日

三次市議会広報委員会視察

視察内容

- ①三次市議会の議会報告会開催状況
- ②三次市議会の広報・広聴活動について



三次市議会の視察



修道懇談会の様子

広報委員会による住民懇談会開催

8月22日

- ・修道放課後子ども教室保護者懇談会
- ・修道活性化センター 参加者7人
- ・修道放課後子ども教室の課題について

記録的な猛暑となった今年の夏、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

私は、議員活動の傍ら、シルバー人材センターの一員として草刈り作業に携わらせていただきました。作業を通じて、地域の皆様から町政に関する貴重なご意見やご要望を直接伺うことができ、大変有意義な時間となりました。議員としてまだ半年という短い期間ではありますが、皆様のお声に耳を傾けることの重要性を日々痛感しております。

特に、広報広聴委員としての活動では、8月に、三次市議会の広報広聴委員会との勉強会に参加し、町民の皆様の声を町政に繋げるための学びを深めました。

10月は、加計、筒賀、戸河内地区の三会場で議会報告会を実施し、議会の活動内容をご報告するとともに、皆様からのご質問やご意見を承りました。また、加計高生を対象に、議会についての学習会を実施し、若い世代の意見に触れる機会を得ました。

今後、町民の皆様から直接お話を伺える機会を積極的に設け、皆様の声を町政に反映できるよう、全力で取り組んでまいります。そして、より良い町政を目指して邁進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

議会広報広聴調査特別委員会

委員 笠井清孝

編集後記